

## 1. 目的

- 前々回（2015年）及び前回（2019-2020年）に続き、理事長兼学長が外部有識者を招集して機関レベルの外部ピアレビューを実施。OISTの教育研究機関としてのパフォーマンスを国際的な見地から客観的に評価させ、世界最高水準という目標達成に役立てる。

## 2. パネルの構成

- 国際外部ピアレビュー (iEPR) パネルは、ノーベル賞受賞者を含む計8人から構成される。
- 有識者は、客観性、独立性、信頼性、中立性を確保するため、①以下の明示された基準を2つ以上満たす者であり、かつ、②実際の、潜在的、又は認識される利益相反を開示し、それらの利害相反がない者から選出する。

1. 自然科学又はSTEM分野において国際的に著名な科学者であり、国際的・国内の研究・イノベーション資金提供機関（例：欧州研究会議（ERC）、米国国立科学財団（NSF）、英国研究・イノベーション機構（UKRI）、日本学術振興会（JSPS））における豊富な審査経験を有すること
2. 世界最高水準の大学の元学長／現学長、又は元副学長／現副学長・国際的に著名な研究機関の元所長／現所長
3. 学術研究に端を発する基礎科学・工学の画期的成果に基づき、キャリアを通じて複数のスタートアップ企業を科学技術面で創設した者
4. 国内最高水準の大学において、財務・人事・IT等の分野を統括する現職の常務理事又は管理担当副学長

## 3. 評価項目

- 研究・教育をはじめ、ガバナンス、知財・スタートアップ、組織運営、財務基盤等を包括的にレビューの対象とする。

## 4. スケジュール（現時点での想定）

- ・ 3月中旬 第1回委員会
- ・ 4月下旬 第2回委員会
- ・ 5月中旬 第3回委員会
- ・ 6月中旬 iEPR 2026による暫定的な所見及び提言のOIST理事会への報告
- ・ 7月末以降 iEPR 2026最終報告書の学長への提出等